

**令和 7 年度
吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン
改善検討会資料**

検討会の目的

- 本検討会では、令和7年度出水対応の振り返りを踏まえた**情報共有**や**システム操作演習**を行い、令和8年度に向けた**引き継ぎ事項を確認**する。

● 出水期に向けた意思統一

出水期に向けて、タイムラインの概要や運用方法、留意点を確認する。



● タイムラインの運用

タイムラインの発動やレベル移行の情報を元にタイムラインを運用する。



今回

● 改善

振り返りで出た課題の改善策を議論する。



● 振り返り・教訓の抽出

タイムラインの記録等を持ち寄り、出水対応の教訓や改善点を洗い出す。



検討会のスケジュール

時間	検討内容
13 : 30	1. 開会挨拶
13 : 30～13 : 35	2. 令和7年度の出水概要
13 : 35～13 : 40	3. 振り返りアンケート結果の報告
13 : 40～14 : 05	4. 防災行動共有システム注意喚起機能について ①情報共有の重要性 ②操作演習
14 : 05～14 : 20	5. 新たな防災気象情報について ①防災気象情報の改善について（岡山地方気象台） ②タイムラインへの新たな防災気象情報の反映(事例)
14 : 20～14 : 25	6. 連絡事項
14 : 25～14 : 30	7. 講評
14 : 30	8. 閉会挨拶

2. 令和7年度の出水概要

①令和7年度における タイムラインの運用状況

- 吉井川・旭川・高梁川水害タイムラインは、令和7年度に計4回発動した。
- 直轄河川では洪水予報を発表するような出水はなかった。

令和7年度におけるタイムラインの運用状況

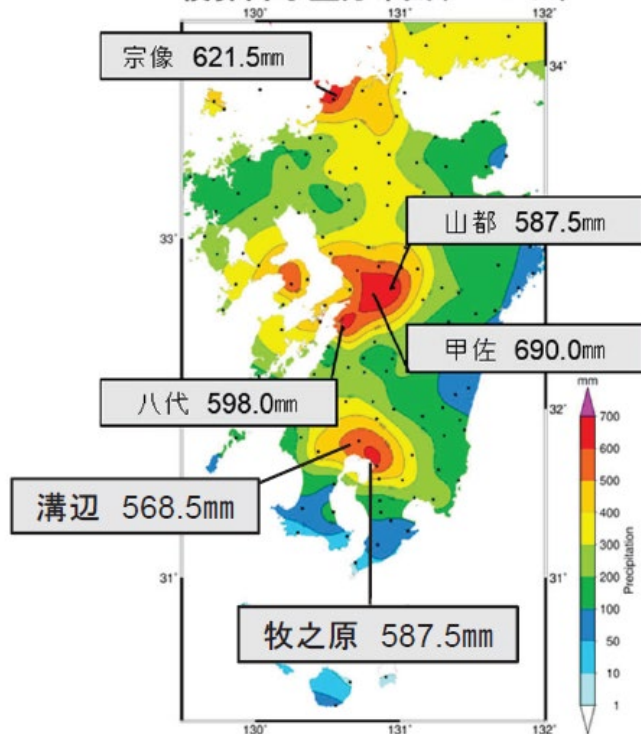
	発動期間	要因	レベル※
1	6.24～6.26	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
2	8.8～8.14	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
3	9.3～9.5	台風による大雨（早期注意情報）	0－2
4	9.12～9.16	前線による大雨（早期注意情報）	0－2

※事務局からのタイムラインレベルの発信に限定

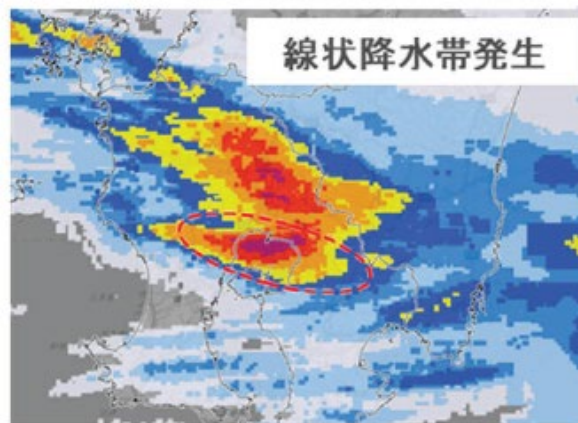
③令和7年度に発生した全国の水害 令和7年8月7日からの大雨（九州地方）

- 福岡県、山口県、大分県、熊本県、長崎県、鹿児島県に線状降水帯が次々に発生（計12回）
- 8日には鹿児島県に、11日には熊本県に大雨特別警報が発表され、6～11日の積算降水量が鹿児島県の牧之原で**587.5mm**、熊本県の佐甲で**690.0mm**を観測するなど、薩摩地方と熊本県を中心に記録的な大雨となった。

積算降水量分布図(6～11日)

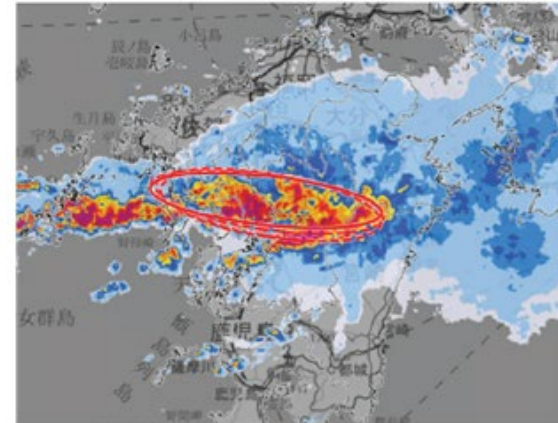


1時間降水量



8月8日1時

1時間降水量



8月11日1時

出典：九州地方整備局「令和7年8月7日からの大雨への対応、気象概況」

③令和7年度に発生した全国の水害 令和7年8月7日からの大雨（九州地方）

- 直轄河川では4水系で内水による浸水、県管理河川では4県37水系53河川で浸水が発生
- 土砂災害は5県で165件発生



③令和7年度に発生した全国の水害 令和7年8月7日からの大雨（九州地方）

■ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけと発生状況の実績は以下のとおり。

線状降水帯 の発生日※1	地方予報区	府県予報区※2	呼びかけ状況	線状降水帯の発生状況	3時間降水量 最大値※3
8月8日	九州南部・奄美地方	鹿児島県 (奄美地方を除く)	呼びかけできず (呼びかけ対象期間の 2時間前に発生)	線状降水帯が発生	約130ミリ
8月8日		宮城県	呼びかけを実施	線状降水帯は発生せず	約170ミリ
8月8日		鹿児島県 (奄美地方を除く)	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約200ミリ
8月9～11日	九州北部地方 (山口県を含む)	佐賀県	呼びかけを実施	線状降水帯は発生せず	約150ミリ
8月9～10日		福岡県	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約200ミリ
8月10日		山口県	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約200ミリ
		大分県	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約190ミリ
8月10～11日		熊本県	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約250ミリ
8月11日		長崎県	呼びかけを実施	線状降水帯が発生	約250ミリ

※1 線状降水帯の発生がなかった場合は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの対象日。

※2 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表。

※3 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つである前3時間積算降水量の最大値が100mm以上を着色。なお、10～30分先に基準を満たすとして同情報を発表した場合、実際には前3時間降水量の積算値が100mmに達しないことがある。

 ：線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけが的中した事例

 ：呼びかけを実施、線状降水帯が発生した事例

 ：呼びかけができなかった、線状降水帯が発生しなかった事例

③令和7年度に発生した全国の水害 令和7年8月7日からの大雨（九州地方）

■ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけと発生状況の実績は以下のとおり。

線状降水帯の発生日※1	地方予報区	府県予報区※2	呼びかけ状況	線状降水帯の発生状況	3時間降水量 最大値※3※4
8月10～11日	九州南部・奄美地方	宮崎県	呼びかけを実施	線状降水帯は発生せず	約110ミリ
		鹿児島県 (奄美地方を除く)	呼びかけを実施	線状降水帯は発生せず	約50ミリ
8月11～12日	九州北部地方 (山口県を含む)	長崎県	呼びかけを実施	線状降水帯は発生せず	約160ミリ

※1 線状降水帯の発生がなかった場合は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの対象日。

※2 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表。

※3 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つである前3時間積算降水量の最大値が100mm以上を着色。なお、10～30分先に基準を満たすとして同情報を発表した場合、実際には前3時間降水量の積算値が100mmに達しないことがある。

■ ：呼びかけを実施、線状降水帯が発生した事例 ■ ：呼びかけができなかった、線状降水帯が発生しなかった事例

出典：気象庁HP「令和7年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～」から抜粋
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jirei/senjokousuitai/R07jiseki.pdf>)

府県単位でのとりまとめ結果	本事例	令和7年 (11月14日時点)
線状降水帯発生の呼びかけ「あり」 のうち線状降水帯の発生「あり」	的中率 約55% (11回中6回)	的中率 約14% (88回中12回)
線状降水帯の発生「あり」 のうち線状降水帯発生の呼びかけ「あり」	補足率 約86% (7回中6回)	補足率 約71% (17回中12回)

出典：気象庁HP「令和7年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～」を基に作成
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jirei/senjokousuitai/R07jiseki.pdf>)

3. 振り返りアンケート結果の報告

アンケートの概要

- 令和7年度出水期を振り返り、タイムラインやポータルサイトの活用状況や課題を抽出するために、アンケートを実施。

① タイムラインの運用について

I. 継続性のあるタイムラインの取組みに向けて

- I-1 : タイムラインに対する理解促進や異動時の引継ぎに効果的だった取組の確認
- I-2 : I-1で示した取組の他に、効果的と考える取組の確認

II. メールの発動について

- II-1 : メーリングリストに発出されたメール確認状況の把握
- II-2 : メーリングリストに発出されたメール活用状況の把握

III. 自由意見

② 防災行動について

I. 今年度における出水対応について

- I-1 : 出水対応の課題や改善が必要な事項の確認

II. 機関ごとのタイムライン作成状況について

- II-1 : 自治体版タイムラインの作成状況の確認
- II-2 : 自治体版タイムライン作成勉強会の参加希望の確認
- II-3 : 自治体以外の機関における、各機関版タイムラインの作成状況の確認

III. 自由意見

③ 防災情報・防災行動の共有について

I. 情報共有について

- I-1 : 連携行動フロー図、状況付与型机上訓練、ポップアップ機能の必要性の確認
- I-2 : I-1の改善が実用な事項の確認

II. 今年度におけるポータルサイトの活用状況について

- II-1 : マルチ画面の利用状況の確認
- II-2 : リンク集の利用状況の確認
- II-3 : 防災行動共有システム各種機能の活用状況の確認
- II-4 : 図形式の利用状況の確認

III. 自由意見

期間 : 12/5~1/9
回答数 : 44 機関

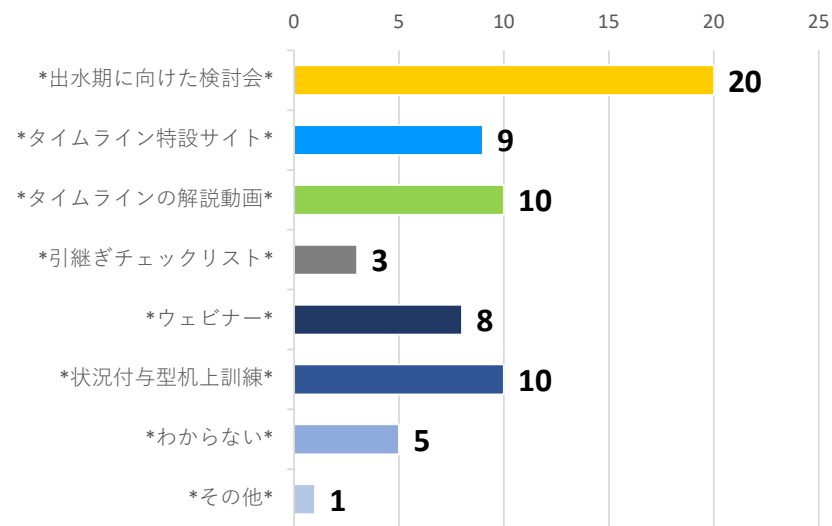
ご協力頂きありがとうございました。

振返りアンケート結果 ①タイムラインの運用について

■ タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組は？

- ✓ タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「出水期に向けた検討会」と「タイムラインの解説動画」、
「状況付与型机上訓練」が多く挙げられた。

選択肢	回答数
出水期に向けた検討会	20
タイムライン特設サイト	9
タイムラインの解説動画	10
引継ぎチェックリスト	3
ウェビナー	8
状況付与型机上訓練	10
わからない	5
その他	1



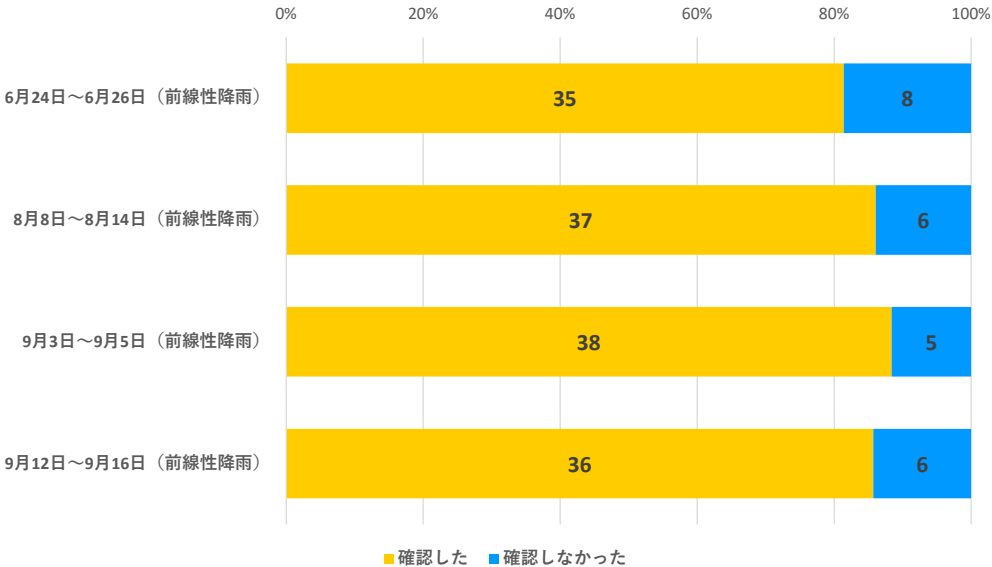
※複数回答

振返りアンケート結果 ①タイムラインの運用について

■ タイムライン発動時にメールを確認しましたか？

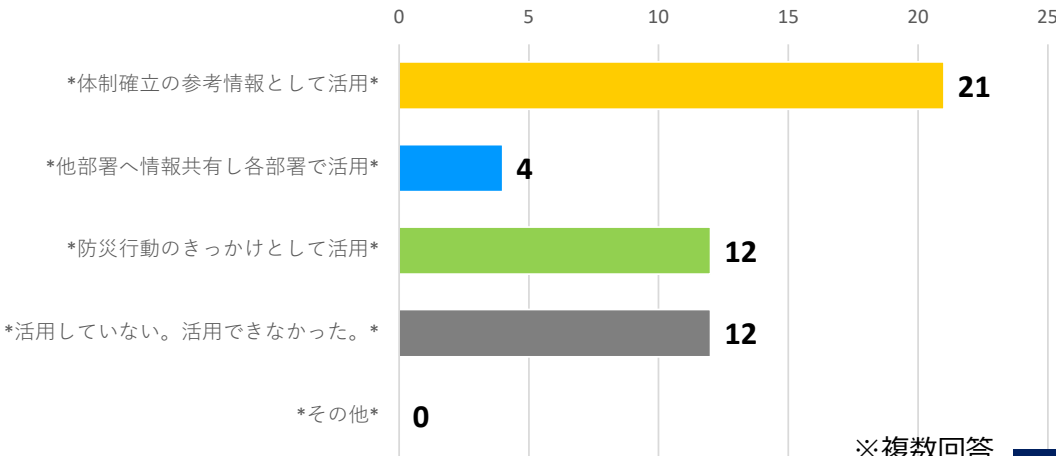
✓ どの出水においても8割以上の機関がタイムライン発動時のメールを確認していた。

選択肢	確認した	確認しなかった
6/24～6/26（前線性降雨）	35	8
8/8～8/14（前線性降雨）	37	6
9/3～9/5（前線性降雨）	38	5
9/12～9/16（前線性降雨）	36	6



■ タイムラインの発動・レベル移行時に発出されたメールの情報をどのように活用しましたか？

✓ 「体制確立の参考情報」として活用している一方で、「活用していない・活用できなかった」も多くみられた。



※複数回答

振返りアンケート結果 ②防災行動について

■ 今年度の出水対応における課題や、改善が必要な事項 ※自由回答

- ・ 9月11日のように夜間発生の際の対応が難しい。（高梁市）

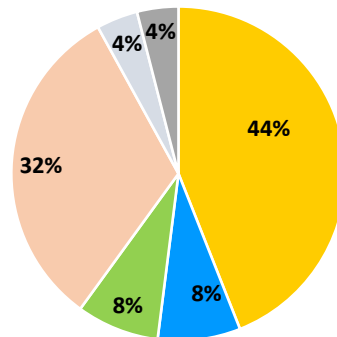
振返りアンケート結果

②防災行動について

■ 自治体版タイムラインの作成状況を教えてください。

- ✓ 5割程度の自治体で自治体版タイムラインを作成済または着手中だが、作成の予定はないと回答した自治体が3割程度であった。

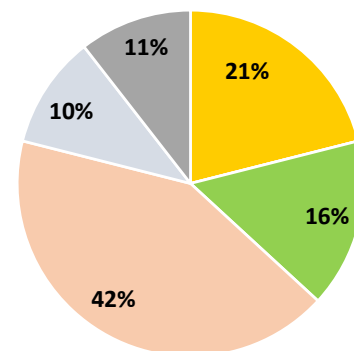
選択肢	回答数
作成済	11
着手中	2
作成を検討中	2
作成の予定はない	8
支援があれば作成する	1
無回答	1



■ 各機関版タイムラインの作成状況を教えてください。

- ✓ 4割程度の機関で機関版タイムラインを作成済または検討中だが、作成の予定はないと回答した機関も4割程度であった。

選択肢	回答数
作成済	4
着手中	0
作成を検討中	3
作成の予定はない	8
支援があれば作成する	2
無回答	2

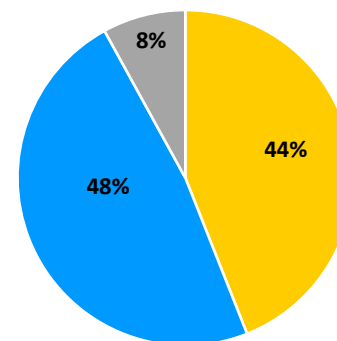


昨年度アンケート回答も含めた自治体版タイムラインの作成状況は次頁

■ 自治体版タイムラインの作成の勉強会の開催を希望するか。

- ✓ 約4割程度の機関が自治体版タイムラインの勉強会の開催を希望するとの回答となった。

選択肢	回答数
希望する	11
希望しない	12
無回答	2



令和7年度 自治体版タイムラインの作成状況

済：作成済、▲着手中、△検討中、□：支援があれば作成、×：作成の予定はない

自治体	作成状況	備考
広島県	×	R7アンケート（危機管理課） オブザーバー
岡山県	済	R4・R5・R6・R7アンケート （危機管理課）
岡山市	済	R4・R5・R6・R7アンケート （現在の旭川水害タイムライン）
倉敷市	△	R4・R5アンケート （総務局危機管理課）
津山市	▲	R4・R5・R6・R7アンケート （防災担当）
玉野市	済	R4アンケート （危機管理課） オブザーバー
笠岡市	▲	R4・R7アンケート （危機管理課）
井原市	済	R4・R6・R7アンケート （危機管理課）
総社市	未回答	
高梁市	済	R4・R6・R7アンケート （防災復興推進課）
新見市	済	R4・R6アンケート （総務課危機管理室）
備前市	済	R4アンケート（危機管理課）
瀬戸内市	△	R5・R6・R7アンケート（防災担当）
赤磐市	済	R4・R5アンケート （くらし安全課）

自治体	作成状況	備考
真庭市	△	R4アンケート（危機管理課）
美作市	□	R7アンケート（危機管理室）
浅口市	済	R4・R6・R7アンケート（くらし安全課）
和気町	未回答	
早島町	×	R6・R7アンケート（総務課）
里庄町	□	R4・R6アンケート（防災担当） オブザーバー
矢掛町	済	R5事務局へ連絡 R6・R7アンケート
新庄村	×	R5アンケート（総務企画課）
鏡野町	済	R4アンケート（防災担当）
勝央町	済	R7アンケート（防災担当）
奈義町	△	R4・R5アンケート（防災担当）
西栗倉村	×	R6アンケート（防災担当）
久米南町	済	R3に事務所支援のもと作成済 R6アンケート
美咲町	済	R3に事務所支援のもと作成済
吉備中央町	未回答	

※自治体版タイムラインについて「作成の予定はない」と回答した自治体には実態（マニュアルなど他の代替手段で対応、人員不足で作成困難など）の確認が必要

自治体版タイムラインの作成推進の経緯

- 平成30年7月豪雨災害を受け、水系内の水害対応に**関連する機関が情報を共有しスムーズな連携**を行うことを目指した、**各河川水害タイムライン**を作成。
- 一方で、各河川水害タイムラインだけでは、**自機関の対応が網羅できていないため、各河川水害タイムラインを活用しづらい**といった課題が寄せられた。
- また、平成30年7月豪雨においては、**庁内連携に関する教訓**（福祉避難所に係る部局間の連携、本部と区本部、各部で決定する事項が不明確等）も明らかになった。
- このため、各自治体内の水害対応における**関係部署間の連携の見える化**を行うことを目指した自治体版タイムラインの作成の取り組みを進める。



避難対応・水防活動 が中心

庁内連携の強化

The image shows a screenshot of a Japanese municipal website. The main content is a timeline titled "A市自治体版 タイムライン" (City A Local Version Timeline). The timeline is presented in a table format with columns for Year (年), Month (月), Day (日), and Content (内容). The content includes various dates and descriptions of events, such as "平成27年 10月 1日" and "平成28年 10月 1日". The page also includes a sidebar with navigation links and a footer with contact information.

自治体が行う防災対応全般 (自治体の防災対応に係る部局の 対応全般を整理)

多機関連携の強化

[illegible]

多機関が係る防災対応 が中心

自治体版タイムラインの事例：高梁市

- 高梁市では、災害対策本部の各班の役割と対応を時系列に整理したタイムラインを策定し、高梁川水害タイムラインと連動して運用している。

タイムラインレベル	警戒レベル	情報・状況	対応行動				本部 班 （防災復興推進課）	広報 班 （総務課）	総務 班 （総務課）	財政 班 （理財課）	調査 班 （税務課）	協力 班 （農林課、農業委員会事務局）	農林 班 （農林課、農業委員会事務局）	農林 班 （西部土木事務所）	商工 班 （観光課、産業振興課）
			行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	No	行動手順・内容 (第3階層)									
レベル0 (3日前準備)	内部調整	・早期3日後に台情報や大雨警戒レベル0移行の意思決定	情報の収集	気象・台風情報の収集【継続】	1	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認	収	収	収	収	収	収	収	収	収
				気象警報・注意報情報の収集【継続】	2	早期注意情報(警報級の可能性)の確認	収								
			タイムライン立ち上げ(レベル0移行)の意思決定	立ち上げの意思決定	3	タイムラインの立上げ協議(レベル0(3日前準備))	◎								
					4	台風進路予測、早期注意情報等から0hの設定	◎								
					5	防災体制のスケジュールの設定	◎								
					6	タイムライン立ち上げ(レベル0(3日前準備))の周知	発	受	受	受	受	受	受	受	受
					7	今後の方針の周知	発	受	受	受	受	受	受	受	受
					8	会議室の確保	◎								
					9	連絡網の用意	◎								
					10	本部設置の事前周知	◎								
					11	水防資機材の確認									
					12	動員体制の確認									
			のう配布	人員の確保	13	人員の確保									
					14	土のう・資機材の準備									
					15	土のうの配布									
					16	土のう配布状況の伝達	受								
			撤去の検討	設備等撤去時期の決定	17	設備等撤去時期の決定									
					18	受注者への準備連絡									
					19	資機材の確認・点検							◎	◎	
					20	人員の確認							◎	◎	

高梁市水害タイムラインに係る運用について

1. タイムラインの立ち上げ・レベル移行・解除について

防災復興推進課が、全体の進行を行います。各班は、タイムラインレベルに応じた災害対応を行い、対応状況のチェックを行います。

(1) 立ち上げ

以下の場合のいずれかにより、タイムラインの立ち上げを決定します。立ち上げ・レベル移行・解除の周知は、各所属の担当者（又は課代表）宛てにメールで連絡します。

- ① 台風の進路予測、早期注意情報や気象予報等により災害発生の恐れがある時
- ② 高梁川水害タイムライン（高梁川水系全体について41機関が参画したタイムライン）が立ち上がった時

(2) レベル移行

状況の進行により、レベルを移行します。災害が発生しなかった場合は、レベルを引き下げることもあります。

(3) 解除

以下の場合のいずれかにより、タイムラインを解除します。

- ① 台風の通過・気象状況等により災害発生の危険がなくなった時
- ② 高梁川水害タイムラインが解除された時

↑ 高梁市水害タイムライン

← 高梁市水害タイムラインに係る運用について

参考：過去の自治体版タイムライン策定勉強会

- 自治体版タイムライン策定勉強会として、河川毎のタイムラインを活用し自治体版タイムラインを作成した美咲町及び久米南町における自治体版タイムラインの策定の流れを解説
 - ※今年度に希望する勉強会の内容を確認

水害リスク・課題・対応抽出図 中小河川の氾濫



水害リスクの把握(課題・対応の抽出)



防災行動項目の検討の様子

久米南町版タイムライン(素案)

【継続】以降の全レベルでタイムライン体制解除まで継続する行動

レベル	目標	情報・状況	行動項目(第1段階)	行動細目(第2段階)	チェック	行動手順・内容(第3段階)	備考
情報収集 C-1	7/20	7/20 10:00 大雨が降る	情報の収集	気象・気象情報の収集【継続】 気象警報・注意報情報の収集【継続】	1 2	1 気象・気象情報の収集【継続】 2 気象警報・注意報情報の収集【継続】 3 避難後の可能性の確認	気象・気象情報の収集【継続】 気象警報・注意報情報の収集【継続】 避難後の可能性の確認
意思決定 C-1	7/20	7/20 10:00 大雨が降る	意思決定	今後の方針の検討 TL立ち上げ(レベルC-1移行)の意思決定	3 4	3 タイムライン内部連絡(仮)の策定 4 大雨警報の発表後、避難の開始 5 避難経路の手配、大雨警報の発表後、避難の開始 6 防災体制のスケジュールの策定 7 TL立ち上げ(レベルC-1移行)の通知 8 今後の方針の策定	意思決定の通知 今後の方針の策定
レベル C-1	7/20	7/20 10:00 大雨が降る	意思決定	市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備	9 10	9 市町村災害対策本部等の設置準備 10 市町村災害対策本部等の設置準備 11 市町村災害対策本部等の設置準備 12 市町村災害対策本部等の設置準備 13 市町村災害対策本部等の設置準備 14 市町村災害対策本部等の設置準備 15 市町村災害対策本部等の設置準備 16 市町村災害対策本部等の設置準備 17 市町村災害対策本部等の設置準備 18 市町村災害対策本部等の設置準備	市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備 市町村災害対策本部等の設置準備

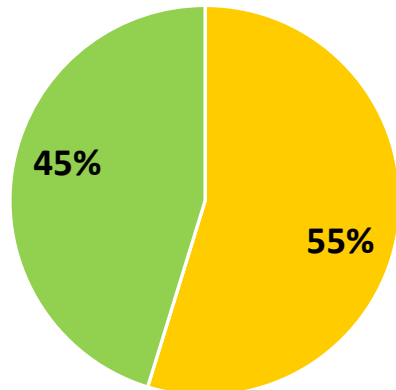
久米南町版タイムライン素案

■ 試行中の各機能について、円滑な情報共有の実現や情報共有の意識の醸成に繋がった（または繋がる）と思うか

✓ 半数程度の機関で効果を実感（または効果を期待）している。

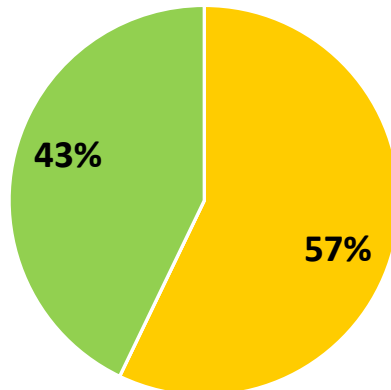
連携行動フロー図

選択肢	回答数
思う	24
思わない	0
わからない	20



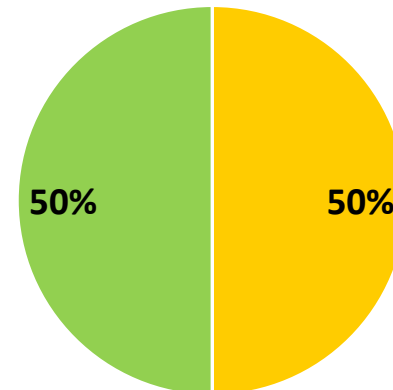
状況付与型机上訓練

選択肢	回答数
思う	25
思わない	0
わからない	19



ポップアップ機能

選択肢	回答数
思う	22
思わない	0
わからない	22



各機能の改善が必要な事項 ※自由回答

- 体験できていないため、よくわかりません。（美作市）
- ポップアップ機能は防災行動共有システムを立ち上げる必要がある。稼働削減の点から逆行しているかもしれませんが、同時にメール配信もあればよい。（NTT）

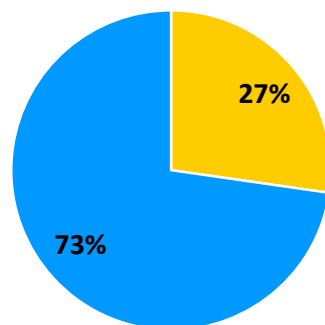
振返りアンケート結果

③防災情報、防災行動の共有について

■ マルチ画面を利用しましたか？

✓ マルチ画面を利用した機関は、3割程度だった。

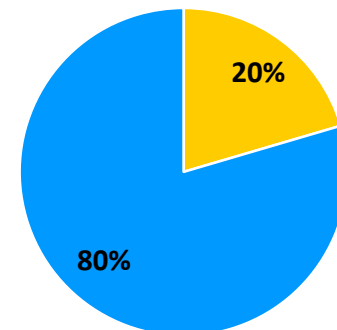
選択肢	回答数
利用した	12
利用しなかった	32



■ リンク集を利用しましたか？

✓ リンク集を利用した機関は、2割だった。

選択肢	回答数
利用した	9
利用しなかった	35



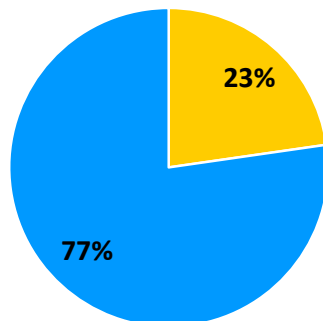
振返りアンケート結果

③防災情報、防災行動の共有について

■ 確認機能を活用しましたか？

- ✓ 確認機能を活用した機関は、2割程度だった。

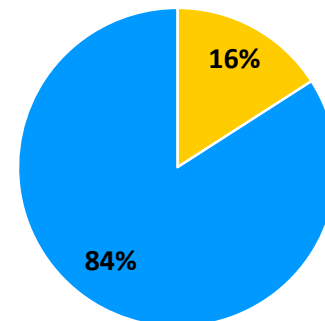
選択肢	回答数
活用した	10
活用しなかった	34



■ 登録機能を活用しましたか？

- ✓ 登録機能を活用した機関は、2割程度だった。

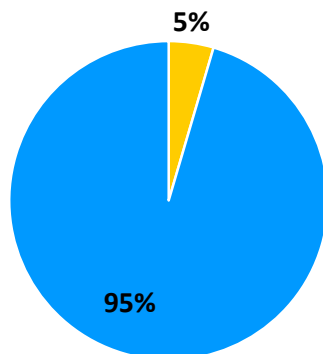
選択肢	回答数
活用した	7
活用しなかった	37



■ 発信機能を活用しましたか？

- ✓ 発信機能を活用した機関は、1割以下だった。

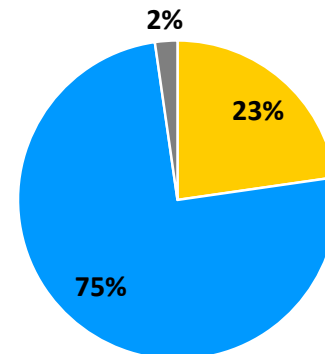
選択肢	回答数
活用した	2
活用しなかった	42



■ 図形式を利用しましたか？

- ✓ 図形式の利用は、2割程度だった。

選択肢	回答数
利用した	10
利用しなかった	33
無回答	1



振返りアンケート結果 まとめ 1/2

① タイムラインの運用について

項目	アンケート結果	今後の方針
タイムラインの理解促進・引き継ぎ	タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「 出水期に向けた検討会 」と「 タイムラインの解説動画 」、「 状況付与型机上訓練 」が多く挙げられた。	タイムラインに対する理解度を向上させる取組を、 次年度以降も継続的に実施 する。

② 防災行動について

項目	アンケート結果	今後の方針
出水対応の課題	—	次年度以降も 異常気象を前提、各機関での備え や円滑な対応に向けた タイムラインの活用 を継続する。
自治体版タイムライン	自治体版タイムラインを作成済の自治体は、約5割となった。また、11自治体が勉強会の開催を希望した。	さらなる自治体版タイムラインの作成促進のため、 勉強会を開催（開催方法、開催時期は要相談） する。

③防災情報、防災行動の共有

項目	アンケート結果	今後の方針
円滑な情報共有に向けた取組み (連携行動フロー図の活用、注意喚起機能の活用、状況付与型机上訓練の実施)	✓ 連携行動フロー図及びポップアップ機能は、出水対応がなく活用する機会がなかったため、円滑な情報共有の意識の醸成に寄与したと回答した機関は5割程度となった。 ✓ 状況付与型机上訓練については、訓練に参加した機関の7割以上が円滑な情報共有の意識の醸成に寄与したと回答しており、効果的な取組みであったと考えられる。	次年度以降も各取組みを継続的に実施し、改善を図る。 防災行動共有システム注意喚起機能は、本検討会で操作方法を体験する。
システム利用状況	出水対応がなく活用する機会がなく 、マルチ画面・リンク集・防災行動共有システム（図形式含む）の活用率は、 1～2割程度 となった。	ポータルサイトの各種機能や活用方法の周知・訓練のため、ウェビナーやシステム操作演習を 次年度以降も継続的に実施 する。

4. 防災行動共有システム注意喚起機能について

①情報共有の重要性 振り返り

- 「共有すべき情報・行動」のうち、**逃げ遅れゼロ、経済被害の最小化**の観点から、タイムラインの取組として共有が重要な項目を8種類を選定

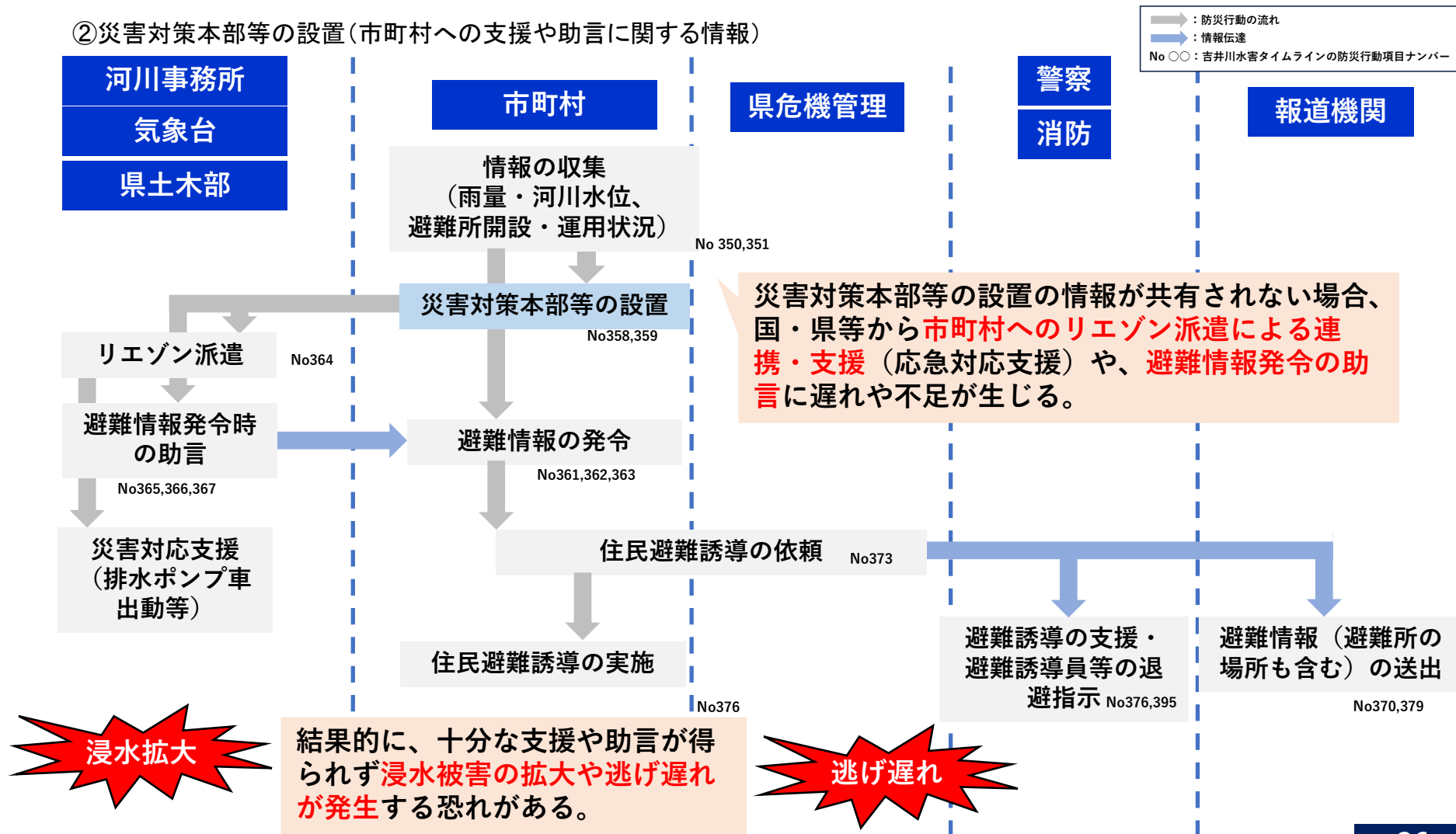
メールマークが付いた行動項目 18種類	R6改善検討会で絞込み 13種類	出水期前検討で合意 8種類	
①タイムラインレベル、今後の方針	○	○	タイムラインの運用の基本となる情報のため
②災害対策本部等の設置	○	○	市町村への支援や助言に関する情報のため
③ダム放流通知	○	○	逃げ遅れへの対処に必要な情報のため
④内水氾濫発生状況	○	○	
⑤堤防決壊、氾濫情報	○	○	
⑥指定避難所の開設	○	○	避難情報の発令への助言に係る情報のため
⑦住民への注意喚起、避難情報	○	○	
⑧道路冠水状況、道路規制情報	○	○	迅速な復旧活動に係る情報のため
⑨鉄道の運行停止情報	○		既存の伝達方法で共有されていると想定されるため
⑩バスの運行停止情報	○		
⑪地下街閉店情報、営業中止情報	○		
⑫停電状況	○		
⑬自衛隊派遣要請	○		
⑭報道機関の情報			
⑮物資支給場所、内容に関する情報			
⑯LPガス充填所等への注意喚起			
⑰関係機関への応援要請			
⑱緊急対応状況			

①情報共有の重要性

行動連携フロー（②災害対策本部の設置）

- 共有すべき情報・行動の情報共有がされない場合、後の対応に遅れや不足が生じ、結果的に被害の拡大や逃げ遅れが発生するおそれがある。

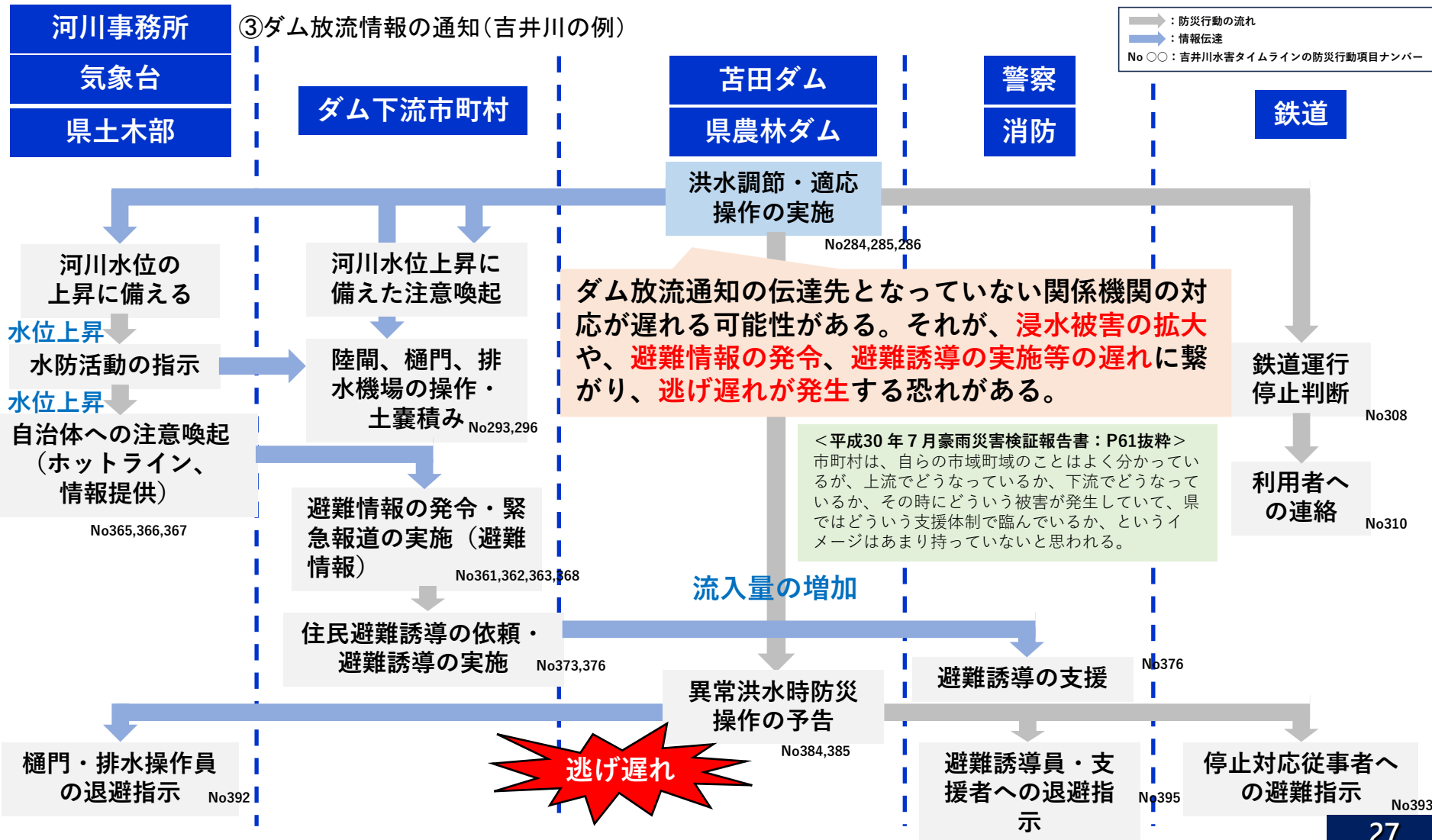
②災害対策本部等の設置（市町村への支援や助言に関する情報）



①情報共有の重要性

行動連携フロー（③ダム放流情報の通知（吉井川の例））

- 共有すべき情報・行動の情報共有がされない場合、後の対応に遅れや不足が生じ、結果的に被害の拡大や逃げ遅れが発生するおそれがある。

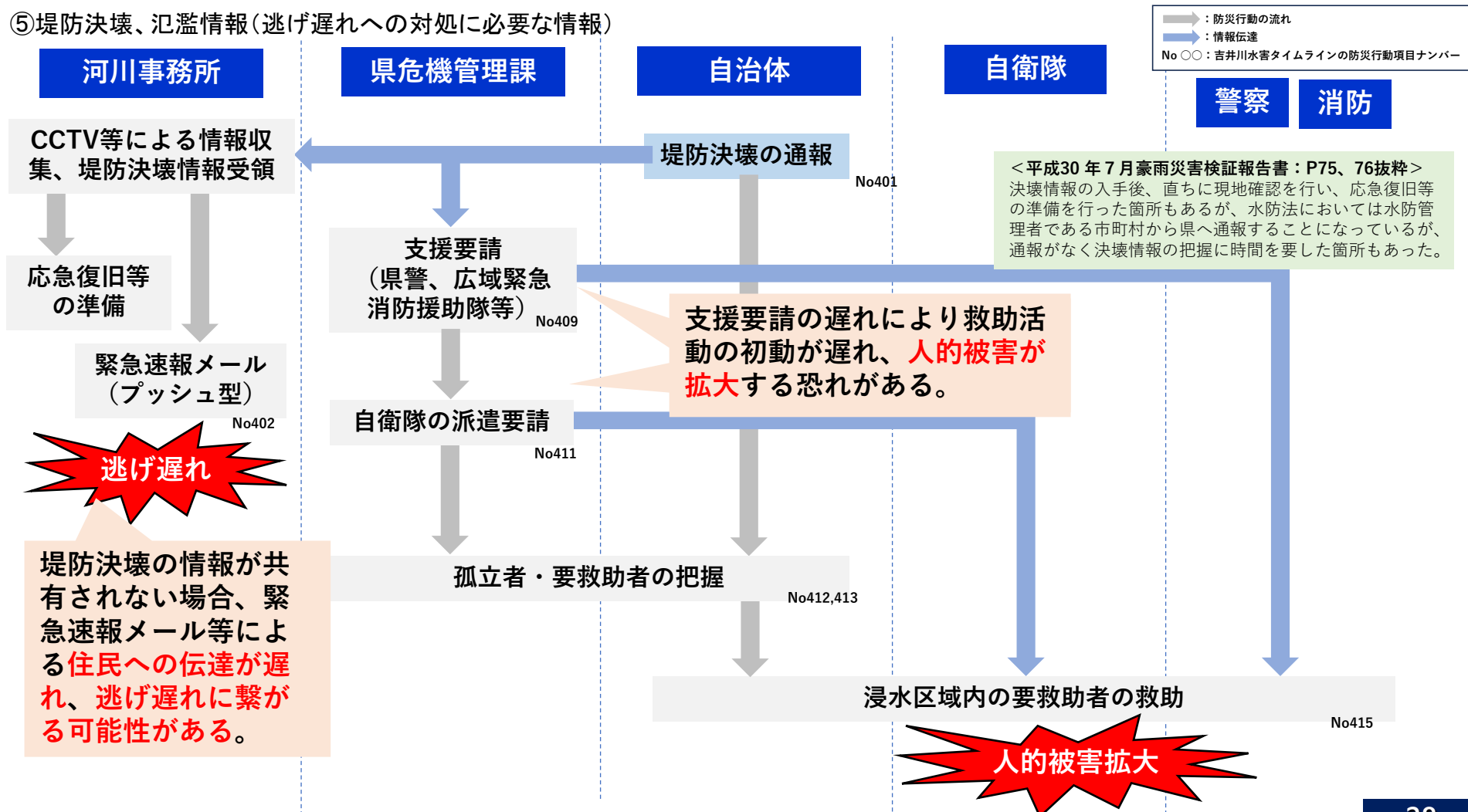


①情報共有の重要性

行動連携フロー（⑤堤防決壊、氾濫情報）

- 共有すべき情報・行動の情報共有がされない場合、後の対応に遅れや不足が生じ、結果的に被害の拡大や逃げ遅れが発生するおそれがある。

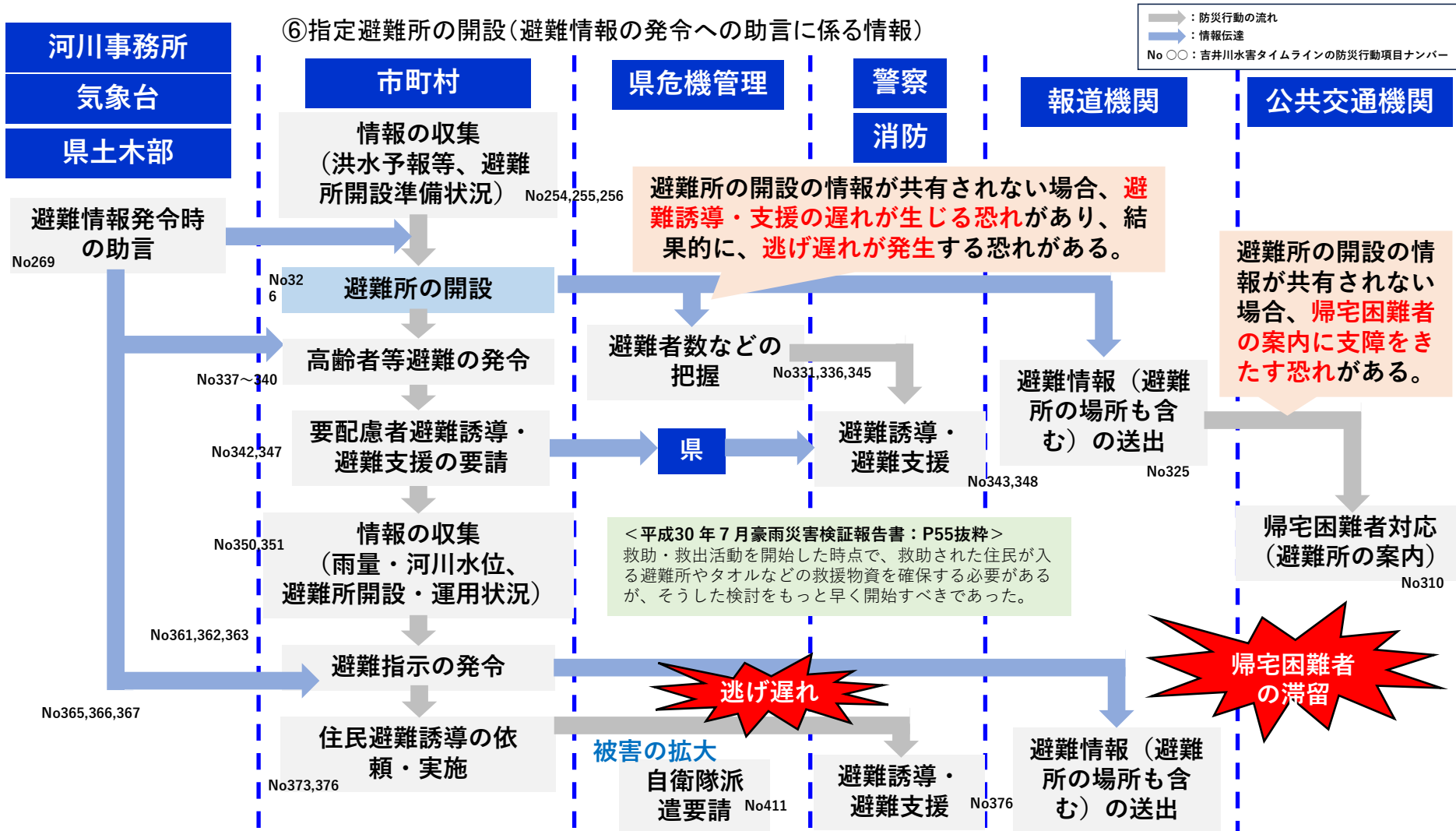
⑤堤防決壊、氾濫情報（逃げ遅れへの対処に必要な情報）



①情報共有の重要性

行動連携フロー（⑥指定避難所の開設）

- 共有すべき情報・行動の情報共有がされない場合、後の対応に遅れや不足が生じ、結果的に被害の拡大や逃げ遅れが発生するおそれがある。

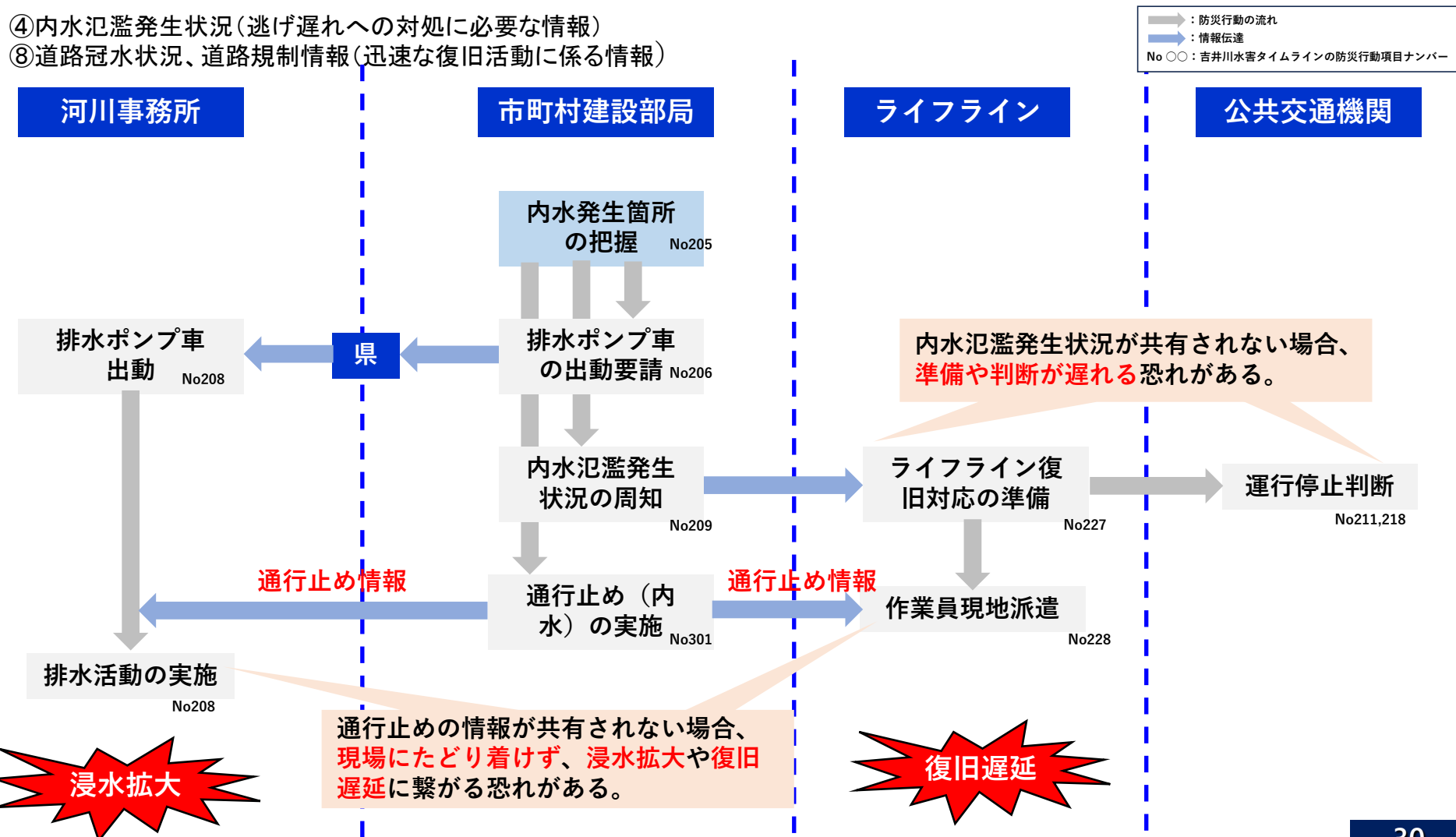


①情報共有の重要性

行動連携フロー（④内水氾濫発生状況、⑧道路冠水状況、道路規制情報）

- 共有すべき情報・行動の情報共有がされない場合、後の対応に遅れや不足が生じ、結果的に被害の拡大や逃げ遅れが発生するおそれがある。

- ④内水氾濫発生状況（逃げ遅れへの対処に必要な情報）
⑧道路冠水状況、道路規制情報（迅速な復旧活動に係る情報）



①情報共有の重要性

注意喚起機能について

- 防災行動項目の登録手間の削減や、重要防災行動の実施・共有漏れを防ぐため、ポップアップによる注意喚起機能を構築
- 注意喚起機能は、防災行動共有システム（表形式）にログインした場合に機能し、タイムラインレベルの移行や該当行動項目情報の受信によってポップアップを表示

9/10 20:40

◆高齢者等避難の発令

〇〇市に高齢者等避難が発令されたことを確認し、防災行動共有システムに登録しました。

確認

本システムで該当情報が受信できるため、受信したタイミングで青枠ポップアップ（確認のみ）

- ✓ ポップアップの実施登録により、防災行動共有システムへの登録が完了
- ✓ ポップアップのテロップ登録により、テロップに例文が自動表示され、修文のうえで登録が完了

9/10 20:40

◆道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベル3になりました。道路冠水を確認した場合や道路規制を実施している場合は、防災行動共有システムに登録をお願いします。

実施済

実施しない

テロップ登録

本システムで該当情報を受信できないため、タイムラインレベルの移行により赤枠ポップアップ

共有すべき情報・行動
①タイムラインレベル、今後の方針
②災害対策本部等の設置
③ダム放流通知
④内水氾濫発生状況
⑤堤防決壊、氾濫情報
⑥指定避難所の開設
⑦住民への注意喚起、避難情報
⑧道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベルの移行により赤枠のポップアップが表示

他システムへの登録情報により青枠のポップアップが表示

②防災行動共有システム（注意喚起機能）の操作演習

- タイムライン発動のメールの確認からシステムへのログイン、システム操作の**一連の流れを演練**

【実施手順】

1. 事務局から送付する**演習用のタイムライン発動メールを確認**
2. 各機関でメールに添付されているリンクから**防災行動共有システム（表形式）にログイン**
3. 各機関で**注意喚起機能によるポップアップを確認**

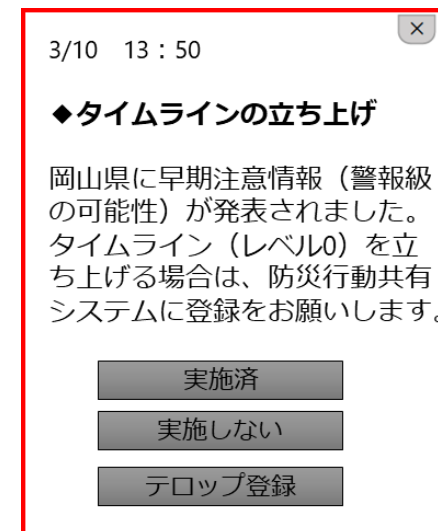
※全機関にポップアップが表示される「レベル0-2移行の周知」で実施

（防災行動項目：旭川No.55／吉井川No.57／高梁川No.67）

4. 各機関で「実施済」「実施しない」「テロップ登録」のうち、**「実施済」**を選択
5. 事務局が**確認機能の各機関が登録した実施状況を表示**

【ポップアップ表示の動作環境】

- 最新の**Edge**及び**Chrome**



②防災行動共有システム（注意喚起機能）の操作演習

- [リンクから吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン防災行動共有システム](#)を開く
- 次ページのパスワード一覧を参照してログイン

http://bousaikoudou.jpn.org/okayama_portal/



吉井川・旭川・高梁川 水害タイムライン ポータルサイト



[ポータルサイトの操作マニュアル](#)



気象・水象情報
マルチ画面

水位監視・雨量監視に特化した情報の集約

- タイムラインレベルに応じた複数の防災・気象情報を一度に同時に見たい時に活用



関係機関
HP リンク集

防災行動に必要な様々な情報の集約

- 防災行動に役立つ様々な情報を確認したい時に活用



防災行動
共有システム

タイムラインの運用を円滑化するために必要な情報・機能の集約

防災行動共有システム表形式
にログインをお願いします。

に活用

[高梁川水害タイムライン特設サイト](#)



パスワード一覧 (1/2)

吉井川・旭川・高梁川 水害タイムライン

ID : okayamaX

PW : okayamaX

機関名		X
国の機関	岡山地方気象台	1_1
	苫田ダム管理所	2_1
	河川事務所	3_1
	国道事務所	4_1
ダム	岡山県 土木部河川課 (ダム)	6_1
	中国電力 (高梁川：新成羽川ダム)	7_1
	中国電力(旭川：社口ダム)	7_2
	中国電力(吉井川：恩原ダム)	7_3
	中国四国農政局・高梁川用水土地改良区 (小阪部川ダム)	8_1
岡山県	危機管理課	6_2
	土木部	6_3
	管理事務所(八塔寺川ダム、津川ダム)	6_4
	農林水産部 (黒木ダム)	6_5
	美作県民局	6_6
	備前県民局	6_7
	備中県民局	6_8
岡山市	危機管理室	9_1
	道路港湾	9_2
	下水道河川	9_3
	下水道施設	9_4

機関名		X
岡山市	下水道保全	9_5
	農村整備	9_6
	市民協働企画	9_7
	福祉援護	9_8
	保健福祉企画	9_9
	北区役所	9_10
	中区役所	9_11
	南区役所	9_12
	東区役所	9_13
	教育委員会	9_14
	消防局企画	9_15
	消防局警防	9_16
真庭市	危機管理課	10_1
	建設部	10_2
	健康福祉部	10_3
新庄村	総務企画課	11_1
鏡野町	くらし安全課	12_1
久米南町	総務企画課	13_1
	建設水道課	13_2
	保健福祉課	13_3
美咲町	くらし安全課	14_1
	建設課	14_2
	保険年金課	14_3

機関名		X
吉備中央町	総務課	15_1
	建設課	15_2
	福祉課	15_3
倉敷市	総務局危機管理課	16_1
	建設局土木部土木課	16_2
	保健福祉局保健推進課	16_3
井原市	総務部危機管理課	17_1
	建設経済部建設課	17_2
	健康福祉部福祉課	17_3
総社市	危機管理室	18_1
	建設部土木課	18_2
	保健福祉部福祉課	18_3
高梁市	防災復興推進課	19_1
	土木部建設課	19_2
	健康福祉部福祉課	19_3
新見市	総務部総務課	20_1
	建設部建設課	20_2
	福祉部福祉課	20_3
浅口市	企画財政部くらし安全課	21_1
	産業建設部建設課	21_2
	健康福祉部社会福祉課	21_3



パスワード一覧 (2/2)

吉井川・旭川・高梁川 水害タイムライン

ID : okayamaX

PW : okayamaX

機関名		X
早島町	総務課	22_1
	建設農林課	22_2
	健康福祉課	22_3
矢掛町	総務防災課	23_1
	建設課	23_2
	保健福祉課	23_3
笠岡市	危機管理部危機管理課	24_1
	建設部建設管理課	24_2
	健康福祉部地域福祉課	24_3
津山市	防災担当	25_1
備前市	防災担当	26_1
瀬戸内市	防災担当	27_1
赤磐市	防災担当	28_1
美作市	防災担当	29_1
和気町	防災担当	30_1
勝央町	防災担当	31_1
奈義町	防災担当	32_1
西粟倉村	防災担当	33_1
警察	警察	34_1
自衛隊	自衛隊	35_1
ライフライン	中国電力	7_4
	NTT	36_1
	岡山県LPガス協会	37_1

機関名		X
ライフライン	岡山ガス	38_1
	津山ガス	39_1
	岡山ネットワーク	40_1
地下施設	岡山都市整備	41_1
	天満屋	42_1
	山陽SC開発	43_1
	ペスカ岡山	44_1
鉄道	JR	45_1
	岡山電気軌道	46_1
	井原鉄道(株)	47_1
	水島臨海鉄道(株)	48_1
バス	岡山県バス協会	49_1
	中鉄北部バス	50_1
	両備ホールディングス	51_1
	八晃運輸	52_1
報道	宇野自動車	53_1
	NHK	54_1
	山陽放送	55_1
	岡山放送	56_1
	テレビせとうち	57_1
	西日本放送	58_1
	瀬戸内海放送	59_1
	テレビ津山	60_1
	岡山エフエム放送	61_1
	つやまコミュニティFM	62_1

機関名		X
報道	岡山シティエフエム	63_1
	真庭いきいきテレビ	64_1
	倉敷ケーブルテレビ	65_1
	吉備ケーブルテレビ	66_1
	井原放送(株)	67_1
	笠岡放送(株)	68_1
	矢掛放送(株)	69_1
	玉島テレビ放送(株)	70_1
	(株)エフエムくらしき	71_1
	エフエムゆめウェーブ(株)	72_1
観光	真庭観光局	75_1
住民	NPO	76_1
オブザーバー	中国地方整備局	78_1
	玉野市	79_1
	里庄町	80_1
	広島県	81_1
閲覧	閲覧者	82_1
	座長・アドバイザー	83_1

5. 新たな防災気象情報について

①防災気象情報の改善について（岡山地方気象台）

資料「防災気象情報の改善について」を用いて説明

②タイムラインへの新たな防災気象情報の反映（事例）

タイムラインへの新たな防災気象情報の反映（事例）

吉井川水害タイムラインを例とした更新イメージ

■ タイムラインレベル移行のトリガー情報（名称変更等があるもの）

TL レベル	区分	現行	反映後
0-1	共通	・ 早期注意情報（警報級の可能性）	・ 早期注意情報（大雨）（警報級の可能性）
0-2		・ 早期注意情報（警報級の可能性）	・ 早期注意情報（大雨）（警報級の可能性）
1		・ 早期注意情報（警報級の可能性）	・ 早期注意情報（大雨）（警報級の可能性）
2	内水	・ 洪水注意報 ・ 洪水警報の危険度分布（注意）	・ 大雨注意報 ・ 浸水キキクル（※1）（注意）
	外水	・ 氾濫注意情報 ・ 洪水注意報 ・ 洪水警報の危険度分布（注意）	・ 氾濫注意報 ・ 大雨注意報 ・ 洪水キキクル（※2）（注意）
3	高潮	・ 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	・ 高潮警報
	内水	・ 洪水警報 ・ 洪水警報の危険度分布（警戒）	・ 大雨警報 ・ 浸水キキクル（警戒）
	外水	・ 氾濫警戒情報 ・ 洪水警報 ・ 洪水警報の危険度分布（警戒）	・ 氾濫警報 ・ 大雨警報 ・ 洪水キキクル（警戒）

※1 短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）

※2 河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）

タイムラインへの新たな防災気象情報の反映（事例）

吉井川水害タイムラインを例とした更新イメージ

■ タイムラインレベル移行のトリガー情報（名称変更等があるもの）

TL レベル	区分	現行	反映後
4	高潮	・ 高潮警報 ・ 高潮特別警報	・ 高潮危険警報
	内水	・ 洪水警報の危険度分布（危険）	・ 浸水キキクル（危険） ・ 大雨危険警報（※3）
	外水	・ 氾濫危険情報 ・ 洪水警報の危険度分布（危険）	・ 氾濫危険警報 ・ 洪水キキクル（危険） ・ 大雨危険警報（※3）
5	高潮	・ 高潮氾濫発生情報	・ 高潮氾濫発生情報・ 高潮特別警報
	内水	・ 大雨特別警報（浸水害） ・ 洪水警報の危険度分布（災害切迫）	・ 大雨特別警報 ・ 浸水キキクル（災害切迫）
	外水	・ 氾濫発生情報 ・ 大雨特別警報（浸水害） ・ 洪水警報の危険度分布（災害切迫）	・ 氾濫発生情報・ 氾濫特別警報 ・ 大雨特別警報 ・ 洪水キキクル（災害切迫）

※3 「大雨に関する情報」として警戒レベル4相当の「大雨危険警報」が新設予定

6. 連絡事項

今後の予定

- 令和8年度も引き続き、PDCAサイクルによるブラッシュアップを予定

出水期前検討会：令和8年5月～6月

読み合わせ訓練：令和8年7月～9月

● 出水期に向けた意思統一

出水期に向けて、タイムラインの概要や運用方法、留意点を確認する。



● タイムラインの運用

タイムラインの発動やレベル移行の情報を元にタイムラインを運用する。



● 改善

振り返りで出た課題の改善策を議論する。



● 振り返り・教訓の抽出

タイムラインの記録等を持ち寄り、出水対応の教訓や改善点を洗い出す。



改善検討会：令和9年1月～3月

振り返り検討会：令和8年11月～12月

次年度の円滑な出水対応に向けて

①タイムライン引き継ぎツールの周知

- タイムラインの概要や検討会の開催状況（検討会資料や開催概要）、引継ぎツール（引継ぎチェックリスト、解説動画）、タイムラインに関する質問（Q&A）が確認可能。⇒異動等により引き継ぎが必要な場合に活用

タイムラインポータルサイトから特設サイトにアクセス可能



タイムライン特設サイト
トップページが表示
上記タブで情報を切り替え

検討会の開催状況

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン



タイムライン引き継ぎツール

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン



タイムラインに関する質問

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン



次年度の円滑な出水対応に向けて

②改善したタイムライン発動条件の試行・検証（継続）

- タイムライン発動基準を、早期注意情報（警報級の可能性）かつ府県気象情報の発表とし、確度が高い状況に絞ってタイムラインを発動する。

⇒令和8年度は新たな防災気象情報を適用し、検証

タイムライン発動基準の改善

タイムライン レベル	気象予警報、河川情報、水位超過、現象等の目安	
	洪水・内水	土砂災害
レベル0-1 (3日前準備)	・ 台風：3日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（大雨）（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表（岡山県気象解説情報（大雨））	
レベル0-2 (2日前準備)	・ 台風：2日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（大雨）（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表（岡山県気象解説情報（大雨））	
レベル1	・ 早期注意情報（大雨）（翌日までの警報級の可能性）【目安：1日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表（岡山県気象解説情報（大雨））	

赤字：新たな防災気象情報

次年度の円滑な出水対応に向けて

③自治体版タイムラインの策定促進

- 自治体版タイムライン策定勉強会として、**河川毎のタイムラインを活用し自治体版タイムラインを作成した美咲町及び久米南町における自治体版タイムラインの策定の流れを解説**



水害リスクの把握（課題・対応の抽出）



防災行動項目の検討の様子

久米南町版タイムライン(素案)										本素案中に関係する項目 継続段階で選定する項目 従前の段階で対応する項目													
【継続】：当該の全レベルでタイムライン体制開発発生継続する行動																							
TL レベル	目標	時間の 目安	情報・状況	行動項目 (第1段階)	行動指目 (第2段階)	No.	チ ェ ッ ク	行動手順・内容 (第3段階)	対応														
									発生 時	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後	発生 後			
情報収集 0-1	意思決定 0-1	72h	③1日後に台風や大雨が嵐山流域に影響する恐れ	情報の収集	気象・台風情報の収集【継続】	1	○	①最新・他方・市民気象情報、台風情報、台風予報、気象庁の発表	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収			
気象警報・注意報情報の収集【継続】					2	○	②避難の可能性の確認	収															
今後の方針の検討				3	○	③タイムライン内部会議(仮)の開催																	
				4	○	④大雨警報の発表見込みの確認																	
				5	○	⑤風速警報・大雨・大雨警報の発表見込み等かJWAの発表																	
				6	○	⑥防災体制のスケジュールの決定																	
				7	○	⑦TL立ち上げ(レベル0・移行)の開始																	
				8	○	⑧今後の方針の検討																	
				9	○	⑨避難先の確保																	
				10	○	⑩避難所の用意																	
11	○	⑪避難所の管理開始																					
12	○	⑫大規模災害時の体制																					
水防活動の準備				市町村災害対策本部等の設置準備	河川鉄道の道具等準備の検討	14	○																
避難通行のための準備				避難経路の準備 体制の構築	避難経路の準備 体制の構築	16	○																

久米南町版タイムライン素案

次年度の円滑な出水対応に向けて

④ウェビナーによるポータルサイトの活用方法の周知

- 令和7年度は、出水対応時におけるタイムラインの有効活用を目指し、タイムラインやポータルサイトに対する理解を深めるための**ウェビナーを開催**（令和7年7月4日(金)、7月8日(火)）

⇒**令和8年度も引き続きウェビナーを予定**

令和7年度のウェビナーの概要

＜ウェビナーのポイント＞

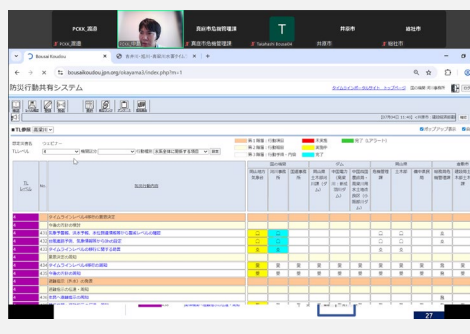
- ・ 検討会において詳しく説明できなかった内容を補足
- ・ 参加者の理解度や経験に応じて参加できるように実施
- ・ 少人数で気軽に疑問点や不明点を質問できるように3回開催を計画

＜ウェビナーのコース・内容＞

コース	ウェビナーの内容	主な対象者
実践	水害シナリオに沿ったタイムラインポータルサイト操作演習	システム未活用者

＜参加機関＞

- 7/4(金)11:00～11:50：計5機関
（岡山河川事務所、岡山地方気象台、井原市、津山市、勝央町）
- 7/4(金)13:00～13:50：なし
- 7/4(金)13:00～13:50：計5機関
（岡山河川事務所、真庭市、高梁市、井原市、総社市）



次年度の円滑な出水対応に向けて

⑤オンライン情報共有の気象台との同時開催（継続）

- 気象台が開催するオンライン会議・説明会との同時開催と常時接続（行政機関が参加）において、タイムラインに関する**オンライン情報共有**の実施を想定している。
（台風や大雨の1～2日前に実施※台風接近や大雨が休日に予測される際には事前に実施する場合もある）

⇒令和8年度も引続き実施

オンライン情報共有の流れ

時期 (目安)	TL レベル	オンライン情報共有	その他
3日前	0-1 (3日前準備)		
2日前	0-2 (2日前準備)	台風・大雨 説明会 + ワライン 情報共有 連絡会議	
1日前	1	同時開催	
当日	2		※タイムラインに関連する 情報共有も実施 気象台 常時接続※
	3		
	4		
	5		

令和4年度オンライン情報共有における情報共有内容

岡山地方気象台

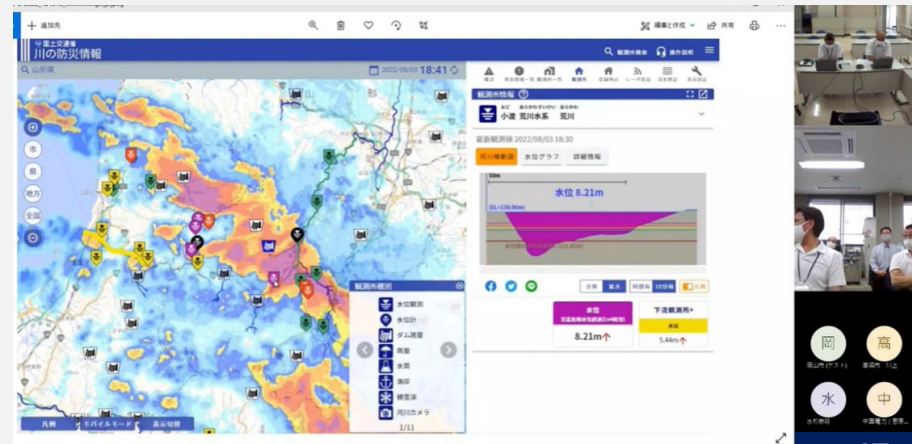
台風の最接近は6日午後を予想している。今回の台風は潮位が高い時期と重なるため高潮注意情報を発表する可能性が非常に高い。最新の台風情報に留意していただきたい。

岡山県

12時間前に台風の予報円に入った場合、特別警戒体制に入る。予報円に入るかどうか情報を入手し、緊張感を持ちながら体制の準備をしていきたい。

岡山河川事務所

川の水位情報等が一覧になってわかる「川の防災情報」や、6時間先までの水位予測を確認できる自治体版「水害リスクライン」を活用いただきたい。



7. 講評

8. 閉会挨拶